

2.3 SEEA-2003 の勘定表

SEEA2003 の勘定表は、報告書の「第2章」から作成した。

(1) 物的フロー勘定

SEEA は、経済と環境の間の相互作用を考慮することによって、経済の解釈範囲を拡大しようと試みている。SNA は、ある時点のストックの価値と時間経過によるフローの価値の変化の両方を考慮している。SEEA は、ストックとフローを重要視しているが、それらの価値と同様に物的計測を考慮する。システム開発の出発点は、経済領域と環境領域の間及びその中でのフローを物的に調べることである。

①生産物のフロー勘定

表2.1 生産物の供給・使用表

	生産	最終消費	資本形成	海外	経済合計	百万t
供給	551			150	701	
使用	442	39	119	101	701	

出典：SEEAland data set(要約版表3.6、3.7)

②天然資源のフロー勘定

表2.2 自然資源の供給・使用表

	生産	最終消費	資本形成	海外	経済合計	環境合計	百万t
供給						264	
使用	261	2		1	264		

出典：SEEAland data set(要約版表3.4)

③生態系投入のフロー勘定

表2.3 生態系投入の供給・使用表

	生産	最終消費	資本形成	海外	経済合計	環境合計	百万t
供給						147	
使用	121	24		2	147		

出典：SEEAland data set(要約版表3.5)

④残留物のフロー勘定

表2.4 残留物の供給・使用表

	生産	最終消費	資本形成	海外	経済合計	環境合計	百万t
供給	280	48	73	14	415		
使用	7		26	9	42	373	

出典：SEEAland data set(要約版表3.8、3.9)

④物的フロー勘定の要約

表2.5 物的フロー勘定の要約

	生産	最終消費	資本形成	海外	経済合計	環境合計
供給						
生産物	551			150	701	
自然資産						264
生態系投入						147
残留物	280	48	73	14	415	
純蓄積	0	17	72	-51	38	-38
供給合計	831	65	145	113	1154	373
使用						
生産物	442	39	119	101	701	
自然資産	261	2		1	264	
生態系投入	121	24		2	147	
残留物	7		26	9	42	373
使用合計	831	65	145	113	1154	373

出典: SEEAland data set(要約版表3.13)

(2) マトリックス形式の勘定の導入

このハンドブックを通して使われる表章形式は、種々の勘定についてマトリックス形式である。第3章の供給・使用表から始まり、以降の章を通して詳細に作成される。行方向または列方向を読むことによって、二回記録された複式記入システムに入っている情報を見ることができる。

マトリックス形式の表章により、すべてのデータを非常に簡潔な書式に示し、確実に勘定の一貫性が維持される。実際には、マトリックス形式は、簡潔に表現するため、詳細な記述の大部分は、非常に大きくかつ不細工にならざるを得ない。特に空値を大量に含んでいるためである。

実際の結果の表章は、その他の形式が使われる可能性がある。特に情報が時系列で必要とされるときはその他の形式となる。

①物的供給・使用表

表2.6 生産物の物的簡易供給・使用表

	中間消費	最終消費	資本形成	輸出
	442	39	119	101
生産物				
551				
輸入				
150				

出典: SEEAland data set

表2.7 全物的フローの簡易供給・使用表

							百万t	
	生産物	産業	消費	資本	海外	残留物	物質バランス	
生産物		中間消費 442	消費 39	資本 形成 119	海外 輸出 101			
産業	生産 551					産業から 280		
消費						家計から 48		17
資本						資本形成から 73		72
海外	輸入 150					非居住者から 6		-46
自然資源		産業へ 261	家計へ 2		他国へ 1			-264
生態系投入		産業へ 121	家計へ 24		他国へ 2			-147
残留物		産業へ 7		埋立地へ廃棄 26	他国へ 6			368

出典: SEEAland data set(要約版表3.11)

②貨幣的供給・使用表

表2.8 貨幣的簡易供給・使用表

					10億通貨単位	
	中間消費	最終消費	資本形成	輸出		
	664.0	506.4	146.0	403.0		
生産 1286.4						
運賃・マージン 150.0						
税-補助金 70.0						
輸入 363.0						
	付加価値 622.4					

出典: SEEAland data set

③ハイブリッド供給・使用表

表2.9 簡易ハイブリッド供給・使用表(SEEAland data set)
貨幣データ(イタリック)10億通貨単位:物的データ(非イタリック)100万t

		経済					経済合計	残留物		9. 物量バランス	使用合計	
		1. 生産物 物量	貨幣	2. 産業	3. 消費	4. 資本		5. 他国 (生産物)	10.国内着			11..他国着
経済	1. 生産物 物量			産業の生産物使用 442	消費の生産物使用 39	資本の生産物使用 119	他国の生産物使用(輸出) 101				0	701
	貨幣			664	506	146	403	1719				
	2. 産業	産業による生産供給							産業の残留物 275	他国における産業の残留物 5	0	831
	3. 消費	551	1356						消費の残留物 47	他国における消費の残留物 1	消費の純物質蓄積 17	65
	4. 資本								資本の残留物 73		資本の純物質蓄積 72	145
5. 他国 (生産物)	他国の生産物供給(輸入)							非居住者の残留物 6		他国経済による純物質蓄積 -52	104	
	付加価値 経済合計			692	1356			692				
自然資源	6. 自然環境			産業に供給される自然資源 256	消費に供給される自然資源 1		他国に採取された自然資源 1				国内環境の自然資源の純蓄積 -258	0
	7. 他国起源			産業に供給される自然資源 5	消費に供給される自然資源 1						他国での自然資源の純蓄積 -6	0
生態系投入	8. 自然環境			産業への生態系投入 118	消費への生態系投入 23		他国経済への生態系投入 2				国内環境の生態系投入の純蓄積 -143	0
	9. 他国起源			産業への生態系投入 3	消費への生態系投入 1						他国での生態系投入の純蓄積 -4	0
残留物	10.自然環境			生産で吸収された残留物 7		埋立地への廃棄 26			境界を越える残留物の出フロー 4		国内環境の残留物の純蓄積 373	409
	11.他国起源							境界を越える残留物の入フロー 8		他国の残留物の純蓄積 1	9	
供給合計		701		831	65	145	104		409		0	2364

(3) SNA フロー勘定

SEEA は SNA のサテライト勘定として考えられた。これは、勘定の形と基礎的な慣例は、SNA のそれらによって大きく影響されることを意味する。SNA の熟知は、SEEA の意味を完全に理解する上で望ましい。物的フロー勘定と前節で記述されたハイブリッド供給・使用表の確立のため、最終消費支出と生産が一致した財貨・サービス勘定の熟知は必要十分である。

しかし、この勘定が 1 期間における経済活動の最終結果を記述するとき、生産によって生み出された所得が、経済における様々な種類の構成単位にどのように利用できるのか、この所得を消費するのか投資するのかを、どのように決定するのかを説明していない。

これを理解するために、発生した所得が何処で配分、再配分され、最終使用されたのかのステップを説明する SNA の「勘定の順序」を考慮することが必要である。バックデータとして「勘定の順序」を持つことで、環境的視点から興味あるシステムの特定部分を深く調べることができる。これは、SEEA における国内サテライト勘定の側面である。

①全勘定マトリックス

表2.10 国民経済勘定マトリックスの概念図

	財貨・サービス (生産物)	生産 (産業)	第1次所得の 配分勘定	所得の第2次 配分勘定	所得の使用 勘定	資本勘定	金融勘定	他国
	1	2	3	4	5	6	7	8
財貨・サービス (生産物)	1	中間消費			最終消費	資本形成		輸出
生産(産業)	2	産出						
第1次所得の配 分勘定	3	付加価値	→ 固有所得					
所得の第2次分 配勘定	4		↓ 一次所得の ランス	↓ 貨幣換算				
所得の使用勘 定	5			→ 可処分所得	↓			
資本勘定	6				貯蓄	資本移転		
金融勘定	7					純貸出又は借 入	金融資産の取 得と処分	
他国	8	輸入					他国との純貸 出又は借入	

(4) 環境保護支出勘定

前節では 特定の取引の一部がシステムの範囲内でどのように位置付けられ、測定されることができるかについて示した。多くの場合、国内サテライト勘定の対象はこれより広い。目標は、興味深いテーマに関連性があるシステム内の全ての取引にある程度関係がある。

第 5 章は、そのような一組の勘定がどのように確立されるかについて議論する。この章は環境保護支出と資源管理について、より一般的に述べるが、それは、これまで多くの経験がある環境保護支出であり、端的に言えば、国内サテライト勘定のプロトタイプとして記述される。

①供給・使用表の編集

表2.11 環境保護サービスの供給・使用表

	百万貨幣単位				
	政府サービス	専門サービス	補助的サービス	洗浄と関連製品	合計
基本価格での産出	3000	6500	4000	1000	14500
輸入				50	50
税とマージン	120	150		150	420
市場価格での供給合計	3120	6650	4000	1200	14970
中間消費	0	4900	4000	600	9500
政府消費	1800				1800
家計消費	1320	1650		600	3570
資本形成		100			100
市場価格での使用合計	3120	6650	4000	1200	14970

出典: SEEAland data set

(5) SEEA の資本ストック

(3) では、SNA フロー勘定の概略を示した。これらは生産と消費の関係を明瞭に表現し、それらの間の関係がどのように所得メカニズムを経てもたらされるかについて示している。

蓄積は、資産のストックならびフローを含む。このセクションは、SNA における資産の役割と環境資産の重要性について記述する。

①SNA の資本勘定

表2.12 実証的物的資産勘定

期首ストック	
期中増加	<ul style="list-style-type: none"> 鉱物の新発見 動植物の自然成長 土地造成
期中減少	<ul style="list-style-type: none"> 鉱物の採掘 沈積碎屑物でふさがれた貯水池容量の減少 動植物の採取 動植物の自然死 干ばつによる動物の減少
期末ストック	

②マトリックス表記への資本勘定の組入

表2.13 資産勘定を持つ国民経済勘定マトリックス

		財貨・サービス (生産物)	生産物の使用	所得の発生 勘定	資産の使用	第1次所得の 配分勘定	所得の第2次 配分勘定	所得の使用 勘定	資本勘定	金融勘定	他国の経済	生産資産と土地
		1	2a	2b	2c	3	4	5	6b	7	8	6a
財貨・サービス (生産物)	1		中間消費					最終消費				期首ストック
生産物の使用	2a	産出									輸出	資産による資本形成
所得の発生勘定	2b		総付加価値									↓
資産の使用	2c			固定資本減								固定資本減
第1次所得の配分勘定	3			純付加価値		財産所得						
所得の第2次配分勘定	4					純一次所得バ ランス	貨幣換算					
所得の使用勘定	5						純可処分所得					
生産資産と土地	6a											
資本勘定	6b							純貯蓄	セクター別純 資本形成			
金融勘定	7								資本移転	金融資産の取 得と処分		
他国の経済	8	輸入							純貸出又は借 入	他国との純貸 出又は借入		
												期末ストック

(6) フロー勘定での環境調整の統合

SEEA の第 4 番目で最後の主要なカテゴリーは、環境の減耗と劣化を貨幣的に計測しようと試み、経済活動の従来をどのように修正するかという勘定である。しかし、考え方は単純であるが、それを実行することは単純ではない。

理論的、実際の、原理的理由があり、統計部局は SEEA のこの部分を実行しないかもしれない、または少なくともまだ実行しないであろう。

これらの問題は重要であるため、第 10 章である程度の量を割いて議論される。ここでの議論は、単に SNA の拡張の種類の種類理論的な構成要素だけに焦点を当てる。

① 勘定内の減耗の明示

表2.15 採取と減耗を組み込んだ国内生産の実際の形態

		百万貨幣単位	指数 (GDP=100)
1	国内生産	692.4	100.0
2	固定資本減耗	104.4	
3-1-2	純国内生産	588.0	84.9
4	採取による資源ストックの価値の低下	58.6	
5-3-4	採取を調整した国内生産	529.4	76.5
6	発見/自然成長を考慮した純採取による資源ストックの価値の低下	12.8	
7-3-6	減耗を調整した国内生産	575.2	83.1

出典: SEEAland data set

表2.14 ハイブリッドマトリックスへの減耗の組み込み

		国内経済								国内資本勘定						
		財貨・サービス(生産物)	生産物の使用	所得の発生勘定	資産の使用	自然資源の使用	第1次所得の配分勘定	所得の第2次分配勘定	所得の使用勘定	資本勘定	金融勘定	海外の経済	生産資産と土地	自然資産	生態系	海外の環境
		1	2a	2b	2c	2d	3	4	5	6b	7	8	6a	9a	9b	11
													期首ストック	期末ストック	期首ストック	
財貨・サービス(生産物)	1		中間消費						最終消費			輸出	資産による資本形成		消費からの残留物	消費からの残留物
生産物の使用	2a	産出													生産からの残留物	生産からの残留物
所得の発生勘定	2b		総付加価値													
資産の使用	2c			固定資本の消費									固定資本の消費((-ve)		資本形成からの残留物	資本形成からの残留物
自然資源の使用	2d				自然資産の減耗									自然資産の減耗(-ve)		
第1次所得の配分勘定	3					付加価値の減耗調整(dp)	財産所得					海外からの一次所得フロー				
所得の第2次分配勘定	4						Dp一次所得バランス	貨幣換算				海外からの貨幣換算				
所得の使用勘定	5							Dp可処分所得								
生産資産と土地	6a															
資本勘定	6b							Dp貯蓄								
金融勘定	7								セクター別純資本形成				金融資産の取得と処分			
自然資産	9a															
海外の経済	8	輸入					海外への一次所得フロー	海外への貨幣換算				海外からの純貸出又は借入			非居住者による残留物	
自然資産	9a															
生態系	9b								消費への生態系投入			海外経済への環境投入			経済への生態系投入	
残留物	10														残留物外部フローの境界	
海外の環境	11								消費への生態系投入						残留物内部フローの境界	
資産のその他の変動	12															

(7) バックグラウンド情報

表2.16 SEEland data setの参照テーブル

100万貨幣単位																				
フロー勘定	石油とガスの採掘		森林		捕獲漁業		養殖漁業		その他の産業		地下資源の所有者(政府)	家計		海外		自然		合計		
	使用	資源	使用	資源	使用	資源	使用	資源	使用	資源	使用	資源	使用	資源	使用	資源	使用	資源	使用	資源
生産勘定																				
1 産出		133167		2444		6642		6434		1137713										1286400
2 中間消費	19124		826		2863		5438		635749										464000	
うち環境保護サービス																			8900	
洗淨と関連製品																			600	
その他																				
3 総付加価値	114043		1618		3779		996		501964										622400	
生産に課される税																			70000	
うち環境税																			2000	
名目GDP																			692400	
所得勘定の拡大																				
4 総付加価値		114043		1618		3779		996		501964										622400
5 雇用者報酬	6738		413		1390		431		324453										333425	
生産に課されるその他の税 控除補助金	3193		-19		71		0		755										4000	
うち生産に課される税	3210		0		95				1195										4500	
生産の補助金	-17		-19		-24				-2440										-2500	
6 =総営業余剰	104112		1224		2318		565		176756										284975	
7 生産された生物固定資本のサービス									140										140	
8 その他固定資産のサービス	45858		668		1486		368		193118										241499	
9 生産された生物固定資本の収益										140									140	
10 その他固定資本の収益		20958		290		516		128		115226									157099	
11 =純営業余剰	79192		846		1348		325		98864										180575	
12 自然生物資源の採取			242		82														324	
13 鉱物資源の採掘	58254																		58254	
14 自然生物資源の収益																				
15 地下資源の収益		28870																	28870	
16 生物資源の自然成長				0		0											263		263	
17 鉱物資源の発見		16631																	16631	
18 =営業余剰の減耗調整	66439		604		1266		325		98864							263			167761	
第1次所得の配分勘定																				
所得の第2次配分勘定																				
所得の使用勘定																				
19 営業余剰の減耗調整		66439		604		1266		325		98864							263			167761
輸入																			363000	
輸出														403000	363000				403000	
20 雇用者報酬												333425							333425	
生産物に課される税											7000								7000	
うち環境税											3000								3000	
生産に課される税 控除補助金											4000								4000	
21 財産所得	45500										45500								0	
採掘からの所得に課される特別税	4200										4200								0	
所得税																			68000	
うち環境税																			2000	
22 消費支出											15900	347400							506400	
うち環境保護サービス											1800	2970								
洗淨と関連製品												600								
23 貯蓄の減耗調整	16739		604		1266		325		98864	-35300	-13975		-40000		263				28786	
資本勘定																				
24 貯蓄の減耗調整		16739		604		1266		325		98864	-35300	-13975		-40000		263				28786
25 総固定資本形成	30778		269		1087		304		112300										144738	
うち環境保護サービス																			100	
財産権の売買																			3000	
26 固定資本の消費	-24920		-378		-970		-240		-77892										-104400	
27 在庫変動			-120				311		1071										1262	
28 土地改良			0																0	
29 自然生物資源の採取			-242		-82														-324	
30 鉱物資源の減耗	-29834																		-29384	
31 生物資源の自然成長																	263		263	
32 鉱物資源の発見と再評価		16631																	18631	
33 純借入または貸出	23634		1075		1231		-50		63385	-35300	-13975		-40000		0				0	

2.4 SEEA-2003 の分類リスト

1. 資産分類

EA.1 自然資源	
EA.11 鉱物・エネルギー資源	EA.111 化石燃料(立方メートル、トン、原油換算トン、ジュール) EA.112 金属鉱物(トン) EA.113 非金属鉱物(トン)
EA.12 土壌資源(立方メートル、トン)	EA.121 農業用 EA.122 非農業用
EA.13 水資源(立方メートル)	EA.131 地表水 EA.1311 人工貯水池 EA.1312 湖沼 EA.1313 河川及び水流 EA.132 地下水
EA.14 生物資源	EA.141 木材資源(立方メートル) EA.1411 育成 EA.1412 非育成 EA.142 作物と植物資源、木材以外その他(立方メートル、トン、数) EA.1421 育成 EA.14211 多年収穫生産物(ブドウ園、果樹園等) EA.14212 単年収穫生産物(作物等) EA.1422 非育成 EA.143 水産資源(トン、数) EA.1431 育成 EA.1432 非育成 EA.144 水産資源以外の動物資源(数) EA.1441 育成 EA.14411 繁殖目的の家畜 EA.14412 食肉用家畜 EA.1442 非育成
EA.2 土地と地表水(ヘクタール)	
うち、レクリエーション用地	
EA.21 建物と構造物のある土地	EA.211 都市部 EA.2111 住居用 EA.2112 非居住建物用 EA.2113 輸送と公共施設用 EA.212 郊外部 EA.2121 住居用 EA.21211 農場 EA.21212 非農場 EA.2122 非居住建物用 EA.21221 農場 EA.21222 非農場 EA.2123 輸送と公共施設用 EA.21231 道路 EA.21232 鉄道 EA.21233 送電設備 EA.21234 パイプライン

資産分類 つづき

EA.22農地と関連地表水
EA.221 耕作地
EA2211 短期作物用
うち排水された耕作地
うち灌漑された耕作地
EA2212 永年植物用
うち排水された耕作地
うち灌漑された耕作地
EA.2213 家庭菜園用
EA.2214 一時的休耕地
EA.222 牧草地
EA.2221 改良地
EA.2222 自然地
EA.233 その他農地
EA.23樹林地と関連地表水
EA.231 森林地
EA.2311 木材供給可能地
EA.2312 木材供給不可地
EA.232 その他の樹木地
EA.24主要水源
EA.241 湖沼
EA.242 河川
EA.243 湿地帯
EA.244 人工貯水池
EA.25その他の土地
EA.251 大草原と草原
EA.252 凍土帯
EA.253 植生がまばら／不毛地
EA.254 万年雪・氷
EA.3 生態系
EA.31陸地の生態系
EA.311 都市生態系
EA.312 農業生態系
EA.313 森林生態系
EA.314 大草原・草原生態系
EA.315 凍土帯生態系
EA.316 乾燥地生態系
EA.317 その他の陸上生態系
EA.32水中生態系
EA.321 海洋の生態系
EA.322 沿岸水域生態系
EA.323 河川生態系
EA.324 湖沼生態系
EA.325 その他の水中生態系
EA.33大気の生態系
EA. 記録項目 明確でない環境資産
EA.M1 鉱物探査
EA.M2 自然資産の開発のための譲渡可能なライセンスと承認
EA.M3 残留物の排出を許可する取引可能な許可証
EA.M4 その他の不明確な非生産環境資産

2. 自然資産と生態系投入のフロー区分

SEEA資産区分	自然資産のフロー
EA.1 自然資産	
EA.11 鉱物・エネルギー資源	<p>採取される部分。</p> <p>エネルギー勘定では、水力、風力、太陽、核エネルギーの発熱量(PJ)で勘定に関連づけることができ、それらを自然資源とみなす。この種のエネルギー資源は、資産分類に入らない。</p> <p>エネルギー勘定では、EA.14に含まれる生物資源を含む折中分類が使われるかもしれない。さらに、再生可能と非再生可能資源の間の明確な区分は、エネルギー資源の分類に入るかもしれない。</p>
EA.12 土壌資源	地面を掘削される部分
EA.13 水資源	<p>採取される部分。</p> <p>採取後に売られるならば、それは生産物になる。また、自己勘定使用の水のフローは、採取後の生産物とみなされることができる。</p> <p>海水は資産勘定に含まれないが、物的フロー勘定にとって採取された海水を含むことは適切かもしれない。(たとえば、冷却目的のため)</p>
EA.14 生物資源	
EA.141 木材資源	
EA.1411 育成	<p>自然成長と収穫の両方が、生産物の流れである。むしろ、生態系投入(非生産物投入)による生物成長の部分が記録される。勘定にとって、木材のすべての収穫を自然資源投入と考えることは、より実際的である。</p>
EA.1412 非育成	収穫された部分
EA.142 作物と植物資源、木材以外その他	
EA.1421 育成	<p>自然成長と収穫の両方が、生産物の流れである。むしろ、生態系投入(非生産物投入)による生物成長の部分が記録される。勘定にとって、作物と植物資源のすべての収穫を天然資源投入と考えることは、より実際的である。</p>
EA.1422 非育成	収穫された部分
EA.143 水産資源	
EA.1431 育成	<p>自然成長と収穫の両方が、生産物の流れである。むしろ、生態系投入(非生産物投入)による生物成長の部分が記録される。勘定にとって、水生資源のすべての収穫を自然資源投入と考えることは、より実際的である。</p>
EA.1432 非育成	漁業で収穫された部分
EA.144 水産資源以外の動物資源	
EA.1411 育成	<p>自然成長と収穫の両方が、生産物の流れである。むしろ、生態系投入(非製品投入)による生物成長の部分が記録される。勘定にとって、土地での放牧によって取り入れられる植物の量が投入を推定することは、より実際的である。</p>
EA.1412 非育成	収穫された部分

フロー区分 つづき

EA.2 土地と地表水	採取されない使用が生じるため適切でない
EA.3 生態系	<p>生態系は、栽培される生物資産と他の目的の生産のための化学物質の提供者と考えることができる。</p> <p>このように、栽培される生物資産(窒素、酸素、二酸化炭素など)と他の目的(たとえば、肥料生産のための空気、燃焼のための酸素、淡水化などのための海水からとられる窒素)の生産物への自然からの投入は、ここに含まれることができる。注意点は、生産物の結果(例えば、肥料、餌など)である投入を含まないようにしなければならない</p> <p>これらの生態系投入は、多くの場合、生産物(上記の収穫される生物資産参照)の収穫に基づいて、推定されなければならない。</p> <p>燃焼と他のプロセスのために必要とされる酸素は、物的勘定バランスを確保するための生態系投入として記録されるかもしれない。</p> <p>この生態系投入は、生産物又は残留物(例えば、二酸化炭素の排出に含まれる酸素の量)の中の酸素の量に基づいて推定されることができる。</p>

3. 残留物

<p>1. 固形廃棄物</p> <ul style="list-style-type: none"> 1.1 化学廃棄物 1.2 放射性廃棄物 1.3 伝染性生物廃棄物(人の健康管理その他) 1.4 金属廃棄物 1.5 非金属廃棄物 <ul style="list-style-type: none"> 1.5.1 紙廃棄物 1.5.2 ガラス廃棄物 1.5.3 ゴム廃棄物 1.5.4 プラスチック廃棄物 1.5.5 その他 1.6 廃棄装置 1.7 泥漿と動物の排出物 1.8 動植物廃棄物 1.9 混合普通廃棄物 1.10 一般ヘドロ 1.11 鉱物廃棄物 1.12 その他廃棄物

<p>2.大気への放出</p> <p>2.1 二酸化炭素(CO₂)</p> <p>2.2 酸化物質の放出</p> <p>2.2.1 アンモニア(NH₃)</p> <p>2.2.2 酸化窒素(NO₂)</p> <p>2.2.3 酸化硫黄(SO₂)</p> <p>2.3 金属粉</p> <p>2.3.1 カドミウム粉(Cd)</p> <p>2.3.2 クロニウム粉(Cr)</p> <p>2.3.3 その他(Cu、Hg、Ni、Zn等)</p> <p>2.4 有機化合物</p> <p>2.4.1 NMVOC</p> <p>2.4.2 メタン(CH₄)</p> <p>2.4.3 香料(ベンゼン、ダイオキシン、フェノール類、メタンその他)</p> <p>2.5 その他残留物</p> <p>2.5.1 アスベスト</p> <p>2.5.2 一酸化炭素(CO)</p> <p>2.5.3 塩化物</p> <p>2.5.4 亜酸化窒素(N₂O)</p> <p>2.5.5 微量粒子</p>
<p>3.水域への放出</p> <p>3.1 富栄養化物質</p> <p>3.1.1 窒素化合物(N)</p> <p>3.1.2 燐化合物(P)</p> <p>3.2 金属合成物</p> <p>3.2.1 カドミウム合成物(Cd)</p> <p>3.2.2 クロミウム合成物(Cr)</p> <p>3.2.3 その他(Cu、Hg、Ni、Zn 等)</p> <p>3.3 有機化合物</p> <p>3.3.1 NMVOC</p> <p>3.3.2 VOC</p> <p>3.3.3 香料(ベンゼン、ダイオキシン、フェノール類、メタンその他)</p> <p>3.4 その他残留物</p> <p>3.4.1 塩化物</p> <p>3.4.2 シアン化物</p> <p>3.4.3 フッ化物</p> <p>3.4.4 その他合成物</p>
<p>4. 生産物の浪費的使用と浪費的損失</p> <p>4.1 生産物の浪費的使用</p> <p>4.1.1 農地での浪費的使用(肥料等)</p> <p>4.1.2 道路での浪費的使用(雪解けと砂塵物質)</p> <p>4.1.3 その他の浪費的使用</p> <p>4.2 浪費的損失</p> <p>4.2.1 摩耗(タイヤ等)</p> <p>4.2.2 化学薬品による事故</p> <p>4.2.3 インフラの浸食と腐食(道路等)</p>
<p>5. 返還水と全体バランスのための記録項目</p> <p>5.1 返還水</p> <p>5.2 燃焼からの水蒸気(H₂O)</p> <p>5.2.1 燃料の水分(H₂O)から</p> <p>5.2.1 燃料の水素分(H)から</p> <p>5.3 生産物からの水分蒸発</p> <p>5.4 人と家畜の呼吸(CO₂と水蒸気)</p>